

|         |       |
|---------|-------|
| プログラム番号 | 06060 |
|---------|-------|

平成18年度「国費外国人留学生(研究留学生)の優先配置を行う特別プログラム」

【1. 大学の概要】

|              |   |                                  |   |
|--------------|---|----------------------------------|---|
| ①大学名<br>研究科名 | 立命館アジア太平洋大学 アジア太平洋研究科   |                                  |   |
| ②学長名         | Monte Cassim (モンテ・カセム)  |                                  |   |
| ③所在地         | 〒874-8577 大分県別府市十文字原1-1   |                                  |   |
| ④担当者<br>連絡先  | 所属部局・職名   | アドミSSIONズ・オフィス (国際)              |   |
|              | 担当者氏名   | シヨーン ハン シュウ                      | e-mailアドレス <a href="mailto:apugrad@apu.ac.jp">apugrad@apu.ac.jp</a> |
|              | 電話・FAX番号  | 電話：0977-78-1119、FAX：0977-78-1121 |   |
| ⑤ホームページ URL  | <a href="http://www.apu.ac.jp/graduate/">http://www.apu.ac.jp/graduate/</a> |                                  |   |
| ⑥大学院在学留学生数   | 184人 (うち、国費留学生 34人)   |                                  |   |

【2. プログラムの概略】

|               |   |
|---------------|---|
| ①プログラムの名称     | 日本-EU/文理にまたがる大学院共同学位プログラム               |
| ②プログラムの形態     | 博士前期課程 (2年間)                            |
| ③実施研究科・専攻     | アジア太平洋研究科 国際協力政策専攻                      |
|               | (所在地) 〒874-8577 大分県別府市十文字原1-1           |
| ④連携大学・研究科・専攻名 | ドイツ・トリア専門単科大学国際原料流通マネジメント学科             |
| ⑤受入れ学生数       | 25人 (うち研究留学生優先配置人数：7人)<br>(うち日本人学生数：5人) |
| ⑥担当教員数        | 合計37人 (うち専任：15人、兼任：6人、非常勤：16人)          |
| ⑦研究科長(代表者)名   | 所属部局・職名 アジア太平洋研究科・研究科長                  |
|               | 研究科長名 山神 進                              |

### 【3. プログラムの内容】

#### 1. 開設の趣旨

本プログラムの目的は、日本国内のみならず、国際的にもほとんど前例のない日本-EUさらに文理にまたがる2つの学位授与を可能とすることで、日本の学位とEU地域の学位との標準化を進め、日本の学位の国際的通用性を高めるものです。

立命館アジア太平洋大学は、国内最大の多文化環境を備えた大学として国内外の注目を集めていますが、こうした環境で博士前期課程のうちの1年間を学び、世界の多様な価値観と文化との接触・刺激の中で自らの研究内容を深めます。そして、後半の1年間はドイツ国内でのインターンシップや修士論文の作成等に取り組み、最終的に両大学の審査に合格すれば、それぞれの修士号を授与するものです。

このように学生は日本とドイツを拠点に世界中の学生との交流・刺激を受けながら切磋琢磨し、グローバル時代を担うにふさわしい人材として社会へはばたいていくことが可能です。

また、今日、環境問題は世界的規模で深刻化していますが、とりわけ経済開発が急速に進むアジア太平洋地域においては、環境問題を多面的にとらえ、創造的にマネジメントしうる人材の育成が急務となっており、本プログラムでは本学が有する環境政策や環境マネジメント分野の力量とトリア専門単科大学の有する環境技術・国際原料流通マネジメント分野の力量とを結合することによって、国際的な視野からこうした人材育成ニーズに正面から応えるものです。

#### 2. 内容及び特色

##### (1) 人材養成の目標

今日、環境問題は世界的規模で深刻化していますが、とりわけ経済開発が急速に進むアジア太平洋地域においては、経済発展とのバランスを考慮しながら環境問題を多面的にとらえ、創造的にマネジメントしうる人材の育成が急務となっています。本プログラムでは、日本とドイツ (EU) との共同学位プログラムを通じて、国際的に通用する環境分野の専門家・リーダーを養成します。

##### (2) 教育・研究の重点

上述の人材養成目標を達成するため、工学、経済学、環境科学などを組み合わせることにより、グローバルな経済の発展プロセスを理解させるとともに、経営管理・技術経営戦略・環境政策を多面的に修得することができるカリキュラムを編成しています。その中で、地球規模での最適な技術経営戦略を考え、経済発展と環境保護の両方をバランスよく考える創造的な環境マネジメントのあり方を教育・研究します。

##### (3) カリキュラムの特徴

研究科共通科目は、アジア太平洋研究科全体に共通して必要となる知識・研究方法論・地域研究などに加えて、環境技術・環境政策等にかかわる基礎的・共通的な科目を修得し、専門研究の展開へ結びつけます。

専攻専門科目では、環境管理、環境経済、環境計画、産業マテリアルフローマネジメント、地域マテリアルフローマネジメント、持続可能な廃棄物管理、持続可能な水管理などの専門科目を修得し、環境技術・環境政策・環境マネジメント等にかかわる専門を深めます。また、演習形式で行う研究指導科目として「リサーチ・プロジェクト研究Ⅰ～Ⅳ」を置いており、講義科目で学んだ専門知識や研究手法を活かして、指導教員による丁寧な指導・援助のもと、自らの研究テーマにもとづく研究活動を展開します。

<カリキュラム表>

| Semester 1 (APU)                     |  |
|--------------------------------------|--|
| Ecosystem Management                 |  |
| Technology Management I              |  |
| Corporate Material Flow Management I |  |
| Regional Material Flow Management I  |  |
| Business Planning for Engineers      |  |

|   |   |
|---|---|
| Ecological Engineering and Environmental Technologies                 |   |
| Research Project I (Seminar: Material Flow Management I)              |   |
| German/Japanese History and Society                                   | * |
| Case Studies on Circular Economy, 3R's Society, Material Flow Society | * |
| Modeling of Carbon Cycles   | * |
| Semester 2 (APU)  |   |
| Technology Management II  |   |
| Technical Aspects of Factor 10  |   |
| Corporate Material Flow Management II                                 |   |
| Regional Material Flow Management II                                  |   |
| Sustainable Waste Management  |   |
| System Change Management  |   |
| Research Project II (Seminar: Material Flow Management II)            |   |
| Religion and Culture in Germany/Japan                                 | * |
| Greenhouse Gas Abatement Strategies and Carbon Trading                | * |
| Sustainable Engineering of IT Systems                                 | * |
| Semester 3 (IfaS)   |   |
| Risk Management & Technology  | * |
| Material Flow Management Modeling and Software Applications           | * |
| Renewable Energy Systems  |   |
| Sustainable Water Management  |   |
| Networking & Knowledge Management                                     |   |
| Green Chemistry   | * |
| Production Integrated Environmental Protection                        | * |
| Organic Chemistry for Engineers and Economists                        | * |
| Practical Internship  | * |
| Semester 4 (IfaS)   |   |
| Research Project III/IV (Master Thesis & Colloquium)                  |   |

(注) \*の付いている科目は、APUの卒業必要単位には認定されません。

カリキュラムは変更になる場合がありますので、予めご了承ください。

### 3. 使用言語

講義、研究指導等はすべて「英語」で行います。また、大学院学生への日常的な履修指導・援助や学生生活のサポートなどについても英語で対応できる職員を多数配置しており、日本語能力の不十分な留学生が安心してキャンパスライフを送ることのできる環境を整えています。

### 4. 修了後に想定される進路

本プログラムは各国・地域で求められる環境技術・環境政策・環境マネジメントにたずさわる国際的に通用する人材を育成するものであり、修了者は、各国・地域の行政機関、国際協力機関、環境分野の企業、NGO等の非営利組織や研究者としての活躍が期待されます。

### 5. 選考方法

選考は、書類選考（大学院入学資格の確認、学部の成績、英語力、推薦書、研究実績等）および面接によって行い、各国・地域の優秀な学生を受け入れます。詳しくは、APUのホームページをご覧ください。